

城山 防災まちづくり活動ニュース

平成 28 年 11 月 発行 いわき市 危機管理課

11月5日(土)は防災訓練。訓練を企画準備しました。

(第8回防災まちづくりワークショップ)

「防災まちづくりワークショップ」は、いわき市内の3地区で地域の助け合いによる防災力の向上に向けて、昨年度から全10回、今年度は2年目として5回行います。

平成28年10月20日(木)午後7時から、城山地区の防災まちづくり検討委員のメンバーをはじめ地区の皆さん方に集まっていたいただき、「第8回城山地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。今回は、36名(地区住民26名、福島工業高等専門学校の教員1名、ほかに平消防署職員4名、市職員2名、コンサルタント3名)が参加しました。

訓練の企画から役割分担を話し合いました

11月に実施する防災訓練は、地区住民を中心に初めて企画運営していきます。地区の防災上の課題や住民同士の助け合いなど、日頃から自分たちに必要だと考える内容を訓練に取り入れることで、「単なる参加」ではなく、「訓練の企画」から「準備・運営役」、「事前の関係者へのお願い」等も必要なことを認識し、企画内容の確認・検討、役割分担について話し合いました。

訓練は、大規模な地震が発生した状況を想定し、いわき市総合防災訓練と同日に実施します。当日は、午前8時30分の市の緊急速報メール等により地震発生を知ったら、まず各自で身を守っていただき、その後、連絡網を活用して情報伝達を城山公民館への避難を呼びかけて下さい。今回は城山公民館を「避難所」とし、住民同士の安否確認、実働避難と危険情報の共有、炊き出し等を行うこととしております。



【お願い】

大規模災害の発生により自宅で生活できない場合、最寄りの避難所は「福島県立磐城桜が丘高等学校」ですが、今回の訓練では、会場の都合上「城山公民館」に避難していただきます。

■「城山自治会防災訓練」の概要(自治会からのチラシ等でご確認下さい!)

- ◎日時 11月5日(土) 午前8時30分~11時30分
- ◎場所 城山公民館(自宅から「避難」してお集まり下さい)
- ◎内容 ①情報伝達訓練 ②避難実働訓練
③ふりかえり(避難の課題、お年寄りへの声かけ等)
④炊き出し(皆で紙食器を作り、おにぎり・豚汁をいただきます)

★ 「城山自治会防災訓練の企画準備」(第8回ワークショップ)の内容 ★

○「城山自治会防災訓練」の内容を検討しました。

・大規模地震が発生した場面の、情報伝達と避難の実働訓練を体験します。

◎地震が発生したら、まず自分の身を守ろう！

◎地区の住民が迅速に情報伝達できるよう、連絡網を活用して訓練しよう。特に、ひとり暮らしの高齢者等が取り残されないよう声かけが大切だ！

・城山公民館への避難を行います。

◎臨場感を持たせるために、崖崩れの危険や交通の誘導役と看板を設置して、住民に呼びかけよう。

◎いざというときの安否確認は、近所同士でしかできない。公民館に受付を作って班ごとに参加者をまとめてもらおう。

・城山公民館に集まり、防災まちづくりを考えます。

◎土砂災害の危険性が高いため、安全な避難ルートと崖崩れ等の危険箇所情報を共有することが重要！

◎住民の多くが集まる機会に、日頃の防災への取組と、住民同士の助け合いについて再確認しよう。

・災害時の食事を考えます。

◎災害時には電気が使えない。炊き出しは、釜・まきを準備しよう。

◎避難所には食器が少ない。紙食器作りを体験し、ラップを敷いて使おう。

○訓練の「運営役」等についても話し合いました。

・当日の「交通誘導」、城山公民館の「受付」等のほか、準備段階での「チラシ配布」、「買い出し」等の役割分担を行いました。当日はよろしくお願いします。



訓練の詳細な時間割案をもとに、必要な物品の準備、当日の役割分担等について話し合いました。

防災まちづくりワークショップの予定

次回【11月5日】は、午前8時半から防災訓練を実施します。いざというときは、自分たちで身を守らねばなりません。是非ご参加ください。

【お問い合わせは下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第9回	11月5日(土) 午前8時半～11時半	○防災訓練
第10回	1月19日(木) 午後7時～9時	○地区防災計画案の作成 ○今後の活動計画の検討

防災訓練にご参加下さい！

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市総合政策部危機管理課：植野(うえの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))